

令和 7 年度昭和館運営事業計画案について

1 令和 7 年度昭和館運営事業予算（案）

	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
＜歳入関係＞			
1. 昭和館運営委託費	443, 252 千円	464, 487 千円	△21, 235 千円
2. 昭和館運営収入	19, 255 千円	19, 255 千円	0 千円
合 計	462, 507 千円	483, 742 千円	△21, 235 千円
＜歳出関係＞			
1. 事務人件費等	60, 229 千円	59, 129 千円	1, 100 千円
2. 管理諸費	174, 000 千円	178, 700 千円	△4, 700 千円
3. 事業人件費等	108, 527 千円	102, 997 千円	5, 530 千円
4. 資料購入・整備関係	21, 450 千円	31, 800 千円	△10, 350 千円
5. 情報機器関係	49, 500 千円	49, 500 千円	0 千円
6. 展示替え経費	1, 000 千円	2, 400 千円	△1, 400 千円
7. 特別企画展経費	15, 000 千円	21, 000 千円	△6, 000 千円
8. 来館促進経費	16, 151 千円	19, 566 千円	△3, 415 千円
9. その他	16, 650 千円	18, 650 千円	△2, 000 千円
合 計	462, 507 千円	483, 742 千円	△21, 235 千円

※ 上記に加え、6階体験広場改修経費を令和 6 年度補正予算に 28,908 千円計上し、令和 7 年度に繰り越して実施予定。

2 広報活動計画

(1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館の事業内容のPR及び春、夏の特別企画展の案内を行い、交通機関の主要駅、九段郵便局にポスター等を掲示する。また、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホームの電飾掲示板に掲示し、集客に努める。さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかとか」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区区報に当館の紹介記事を掲載する。

その他、新聞広告等については、主要新聞等や日本教育新聞に掲載をするとともに、戦後80年に関連し増えている問い合わせや取材依頼を積極的に受け、無料で当館の記事が掲載してもらえるよう努める。

(2) 広報資料の送付等

「昭和館館報」については、都道府県、政令指定都市、東京特別区、教育委員会（1都3県）、各省庁図書館に対し送付する。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には、「昭和館館報」と「昭和のくらし研究」を併せて送付し、当館の周知徹底を図る。

また、令和7年5月頃に、昭和館と学校をつなぐ広報誌「昭和館だより」第43号を全国の公立小・中学校・中等教育学校と令和6年度の来館小学校・中学校、さらに、東京都の校長会等で配付依頼した公立小学校に発送し当館の周知を図る。

加えて、小学校社会科研究会の各種会議に出席し、社会科見学等の学校行事としての利用を依頼し、来館促進を図る。

(3) 刊行物の発刊

令和7年度は以下の刊行物を発刊することを予定している。

- ① 「昭和館館報」26号（令和6年度版）
- ② 戦後80年「昭和のくらし研究」（第24号）

3 来館促進対策

(1) 第24回昭和館作文コンクール等

○ 第24回昭和館作文コンクール

昭和館・特別企画展を見学および、オーラルヒストリー、次世代の語り部講話を視聴した小・中学生を対象とした作文コンクールを令和6年度に引き続き実施する。

- ・対象者：小・中学生（上記条件を満たしたもの）
- ・募集期間：令和7年5月～令和8年1月

この他、厚生労働省において若年世代を対象とした作文コンクールを実施予定であり、昭和館が協力する。

(2) 第18回昭和館中学生・高校生ポスターコンクール

中学生・高校生の来館促進を図るため、昭和館及び特別企画展を見学した中学生・高校生を対象としたポスターコンクールを令和6年度に引き続き実施する。

- ・対象者：中学生・高校生（上記条件を満たしたもの）
- ・募集期間：令和7年5月上旬～令和8年1月中旬（※予定）

（3）貸出キット

実物資料や展示用パネル等の貸出を行う。

小中高等学校、公共団体及び各地の遺族団体に働き掛け、更なる利用促進を図る。

（4）紙芝居定期上演会

昭和館所蔵の紙芝居上演会を、奇数月の第4土曜日にニュースシアターまたは2階ひろばにおいて実施する。

開催予定日：令和7年5月24日、7月26日、9月27日、11月22日、
令和8年1月24日、3月28日

（5）特別映画上映会

戦争の記憶の継承について考える映画等を上映する。

（6）戦後80年スタンプラリー

達成度に応じた粗品を贈呈する。

4 展示事業

（1）常設展示

- ① 長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行う。1回目は令和7年7月28日（月）から30日（水）の期間で資料交換作業を実施する。2回目は令和8年1月6日（火）から2月9日（月）の期間で休室し、6階常設展示室LED照明改修工事および体験ひろば新規コンテンツ導入作業、資料交換作業を実施する。
- ② 上記改修に伴い、「常設展示室ガイドブック改訂版」を発行する。

（2）特別企画展

- ① 「版画家が刻んだ昭和の彩り―館蔵版画集を中心に―」（再掲）【資料4】

○開催期間

令和7年3月15日（土）～5月11日（日）

前期：令和7年3月15日（土）～4月13日（日）

後期：令和7年4月15日（火）～5月11日（日）

○会場

昭和館3階 特別企画展会場

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

昭和館には、昭和の情景をテーマとする版画集など、約600点の木版画が所蔵されている。

本企画展では、当館が所蔵する木版画の中から版画集に焦点を当てて、版画家たちが木版画に刻んだ昭和の情景を紹介する。

② 戦後80年 特別企画展「戦時下のポスター展」(仮称)

○開催期間

令和7年7月19日(土)～9月7日(日)

○会 場

昭和館3階 特別企画展会場

○後 援(申請予定)

千代田区、千代田区教育委員会(申請予定)

○内 容

日中戦争以降、国民の戦意高揚を煽るために宣伝活動(プロパガンダ)が積極的に行われた。ポスターは国策宣伝の手段として重要視され、大政翼賛会や内閣情報局、軍部などによって多くのポスターが制作された。

本企画展では、昭和館ポスターコレクションの中から戦中に制作されたものに焦点を当て、ポスターを通して戦時下で行われた宣伝活動について紹介する。

(3) 巡回特別企画展

① 戦後80年 昭和館・大和ミュージアム合同企画展

「再現展示『この世界の片隅に』～よみがえる昭和の情景～」

○開催期間

令和7年5月30日(金)～6月5日(木)

○会 場

JMSアステールプラザ 1階市民ギャラリー
(広島市中区加古町4-17)

○主 催

昭和館

○共 催

呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)

○協力・後援等

協 力 一般財団法人広島県遺族会および日本遺族会第4ブロック

後 援 広島県 広島県教育委員会 広島市 広島市教育委員会
呉市 呉市教育委員会 中国新聞社 NHK広島放送局
中国放送 広島テレビ テレビ新広島 広島ホームテレビ
ちゅピCOM FMちゅーピー76.6MHz 広島FM

企画協力 株式会社コアミックス

○内 容

本企画展において、昭和館は、広島県呉市を舞台とした漫画『この世界の片隅に』に登場する人物や風景、当時のくらしに関わる実物資料を使った再現展示を試みる。原作者のこの史代さんが漫画を描く際に参考にした実物資料などを展示する。

さきの大戦終結から80年という節目の年を迎え、戦争展示を担う2つの博物館がそれぞれの切り口で昭和の時代を展示・紹介する。

(4) 写真展（2階ひろばにて開催）（再掲【資料5】）

令和7年度も、所蔵写真をより多くの方に知っていただくため、2階ひろばを利用して写真展を開催する。

戦後80年特別写真展「石川光陽写真展【第2期】 戦時下の東京」

開催期間 令和7年3月1日（土）～6月29日（日）

内 容 警視庁のカメラマンであった石川光陽の写真展。第2期は日中戦争が始まった昭和12年（1937）から、昭和20年8月15日終戦の頃までに撮影された写真を紹介する。

戦後80年特別写真展「石川光陽写真展【第3期】 終戦・復興する東京」

開催期間 令和7年7月5日（土）～12月21日（日）

内 容 石川光陽写真展の第3期。終戦を迎えた昭和20年（1945）から昭和30年代にかけて撮影された写真を紹介する。

5 資料収集

(1) 実物資料の収集

令和6年度に引き続き、収蔵庫の整理を進める。資料収集については、長期的な展望に立ち、資料情報を慎重に精査した上で受入れを検討する。資料修復は従来通り進める。

(2) 文献・図書資料の収集

令和7年度も、戦中・戦後の生活関連図書及び戦争に関する基本的図書等のうち、特に戦中・戦後の国民生活に関する図書資料の充実を図ることとする。

利用者からの閲覧要望が多い『少年倶楽部』『少女倶楽部』『婦人倶楽部』など当時愛読された雑誌の欠号補充を行うとともに、昭和館収蔵図書の一つの特徴である手記や体験集、戦中・戦後にかけての日本各地の写真集や児童書などの収集に力を入れていく。また、昭和館HPやチラ

シ等による資料寄贈の呼びかけは継続して行う。

(3) 映像関連資料の収集

令和7年度においても戦中・戦後の国民生活に関する動画、静止画の収集を行う。

(4) オーラルヒストリーの制作

体験者の証言を映像で記録して残すとともに、資料公開コーナーや巡回特別企画展、貸出キットなどを通して公開していくことを目的にオーラルヒストリーの制作を実施している。映像音響室で現在公開している作品数は410作品である。

令和7年度においても、戦中・戦後の苦しかった生活の実態や戦後復興にご苦労された方の証言も加え、内容の充実を図っていく。

6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部活動事業

昨年度に引き続き、毎月1回の定期講話会及び講話派遣を実施する。

また、講話の充実と「次世代の語り部」としての知識や意識の向上をはかるために、フォローアップ研修を実施する。

7 情報検索システムの充実

(1) 図書・雑誌資料のデータ入力

図書・雑誌の検索や閲覧のため、令和6年度に受け入れた資料を中心に約900冊の装備と書誌データ・目次データの入力を行い、来館者が利用できるようにする。

(2) 図書・雑誌資料のデジタル化

資料の破損などによって原本を提供することが難しく、デジタルデータでの提供に移行した方がよいと思われる雑誌を中心にこれまでデジタル化を進め、館内アーカイブで公開してきたが、令和7年度から昭和館デジタルアーカイブで一部資料の公開を開始することから、引き続き図書資料についても順次デジタル化を進めていく。

(3) 映像・音響室におけるデータ公開

昨年度に引き続き、収集した資料の整理を行い館内アーカイブ及び昭和館デジタルアーカイブでの公開を進める。前年度から継続して整理を行っている主な資料は以下のとおり。

資料種別	内容
写真	平成9年度に入手した石川光陽氏の写真 ※未公開資料の整理をすすめ、747点を新たに公開した。 また、整理公開済の資料についても再精査を実施している。 令和元年度に入手した師岡宏次氏の写真 ※継続実施していたネガコレクションのデジタル化（データ化）が今年度で終了した。

映像	短編映画フィルムのデジタル化など
音響	寄贈及びリクエスト資料、国立国会図書館が配信する「歴史的音源」になり資料を中心にデジタル化（音源データ、盤面スキャン）

（４）SNSの活用

エックス（旧ツイッター）やフェイスブックを活用し、ニュースシアターの番組紹介、図書室での資料紹介等を随時アップして来館者の利用促進を図る。

８ 資料の公開・展示

（１）デジタルアーカイブの充実

昭和館デジタルアーカイブは現状図書・雑誌資料及びSPレコードについては目録公開のみを行っているが、令和6年度はシステム改修及び資料のデジタル化の作業を進め、令和7年4月を目途に権利関係で支障のない、図書・雑誌資料の閲覧およびSPレコード音声の公開を予定している。

（２）昭和館懐かしのニュースシアター

収集したニュース映画を「昭和館懐かしのニュースシアター」で毎日上映しており、引き続き実施する。プログラムは毎週土曜日に更新しており、戦中・戦後の同時期に撮影されたニュース映画を紹介するとともに、過去に制作したオーラルヒストリーについても上映していく。

（３）資料公開コーナーの運用

5階映像・音響室及び4階図書室の利用促進と、収蔵資料をさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に1階ロビーの「資料公開コーナー」で、写真、映像、SPレコード、図書・雑誌などを紹介する展示を継続して行う。話題の事柄等をテーマに取り上げて、年4回程度の展示を行う。

（４）館内の検索システム

収集した図書資料をはじめ、映像資料、静止画資料、音響資料などの資料データベースの作成及び映像、静止画、音響資料のデジタル化を行い、館内の検索システムで順次公開していく。

（５）資料紹介

図書室では、テーマを設定した関連資料の紹介を定期的に行うとともに、時事的なトピックや特別企画展や写真展等に関連する資料については随時紹介していく。

また、夏休みには子ども向けワークシート等を作成し小・中学生の利用促進を図る。

（６）昭和館SPレコード鑑賞会

昭和館所蔵の戦前・戦中・戦後の楽曲や漫才等のSPレコード資料を多くの来館者に紹介するため、鑑賞会を開催する。

9 関係施設との連携

(1) 関係施設等連携会議の開催

戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、戦争を知らない世代への継承を図るため「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」が連携して事業を推進する。

年2回関係施設等連携会議を実施予定。

(2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」の実施

引き続き、夏休みの児童・生徒を対象として令和7年7月から9月まで「夏休み3館めぐりスタンプラリー」を実施予定。

(3) 巡回特別企画展の相互協力

秋田県における巡回特別企画展（「しょうけい館」、「平和祈念展示資料館」と「3館連携企画展」）の開催

なお、昭和館はパネル展示等での参加予定。

令和7年9月下旬～10月上旬頃を予定

(4) 移動教室（千代田区立九段生涯学習館）について

平和祈念展示資料館が実施予定の特別展（千代田区立九段生涯学習館）との連携を行う。

10 運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、令和7年度も昭和館運営専門委員会を2回開催予定。

11 戦後80年記念シンポジウム

戦後80年の節目の年を迎えるにあたり、昭和史に関する史資料の情報公開・活用について詳しい有識者を招き、記念シンポジウムを開催する。

- ・開催日 令和7年8月3日（日）
- ・会場 九段会館テラス 2階鳳凰の間
(東京都千代田区九段南1丁目6-5)